

2023年度 上期決算説明会

代表取締役社長 平中 勉

YOROZU

株式会社 **ヨロズ**

東京証券取引所 プライム (証券コード: 7294)

目次

- I. 2023年度上期決算サマリー
- II. 2023年度上期業績
- III. 2023年度業績予想
- IV. 2023年度の取り組みの進捗
- V. 株主還元

上期実績

- ・日本、米州での生産台数増加による増益はあったものの、中国での生産台数減少による減益、将来の成長へ向けたコストなどにより、営業利益は前年同期比13.3%減
- ・適切な計画に基づく資金調達で財務状況は健全な状態を維持

通期予想

- ・市場動向を鑑み、主要顧客の生産台数は当初予想並み
- ・将来の成長へ向けたコストなどがあるも合理化により、通期見通し予想を据え置き
- ・中期経営計画YSP2023の取組みを継続し、成長に向けた新たな取組みに着手

株主還元

- ・2023年度の**中間配当 13円(決定)、年間26円(予定)**
(2022年度配当実績 25円)
- ・配当性向42.0% (見込み)

I. 2023年度上期決算サマリー

II. 2023年度上期業績

III. 2023年度業績予想

IV. 2023年度の取組みの進捗

V. 株主還元

2023年度上期連結決算概要 (前年同期比)

YOROZU

単位：百万円

	2022年度 上期	2023年度 上期	前年同期比
売上高	71,966	84,259	17.1%
営業利益	542	470	△13.3%
経常利益	779	754	△3.2%
当期純利益 ※ 1	314	58	△81.4%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

	2022年度 上期 A	2023年度 上期 B	増減額 B-A	増減率
一株当たり当期純利益	13円07銭	2円42銭	△10円65銭	△81.5%
連結取り込みレート	123円20銭 / \$	134円98銭 / \$	+11円78銭 / \$	+9.6%

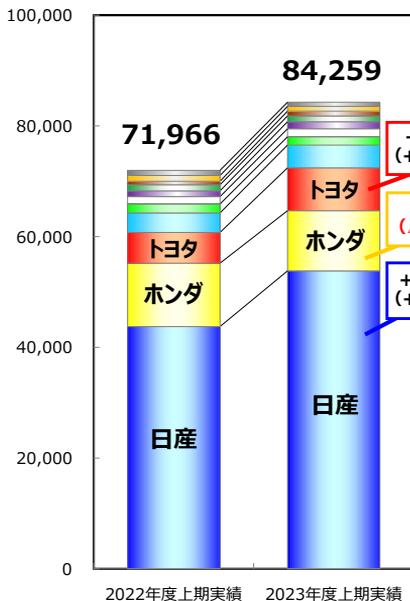
- ◆ 売上高 アジア生産台数減少あるも日本、米州の増加と円安に伴う替影響で増収
- ◆ 営業利益 生産台数増による増益あるも中国売上減、金型設備減、成長への対応コストの織込みなどにより減益
- ◆ 経常利益 為替差益等が良化するも借入利息の増加により横這い
- ◆ 当期純利益 法人税及び法人税等調整額の計上により減益

連結得意先別売上高 (22年上期実績 対 23年上期実績)

YOROZU

単位：百万円

単位：百万円



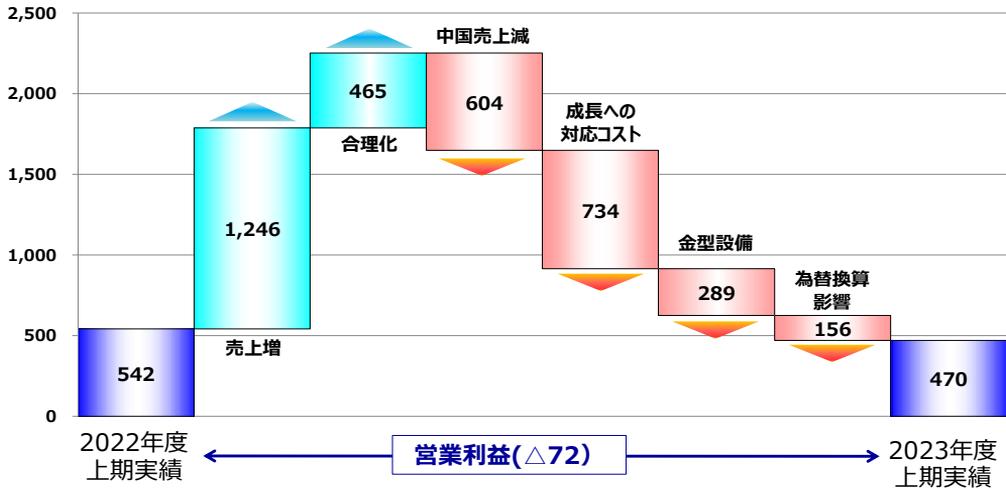
得意先	2022年度 (%)	2023年度 (%)
日産 Gr ※	43,766 60.8%	53,799 63.8%
ホンダ Gr	11,462 15.9%	10,911 12.9%
トヨタ Gr	5,504 7.6%	7,741 9.2%
いすゞ Gr	3,547 4.9%	4,068 4.8%
マツダ	1,608 2.2%	1,540 1.8%
クボタ	1,323 1.8%	1,429 1.7%
VW	1,039 1.4%	1,246 1.5%
Mercedes Benz	1,131 1.6%	1,060 1.3%
スバル	595 0.8%	880 1.0%
スズキ	1,070 1.5%	843 1.0%
その他	921 1.5%	742 1.0%
合計	71,966 100.00%	84,259 100.00%

※ ルノー・三菱向け売上含む

- ◆ 多くの得意先で2022年比増収
- ◆ トヨタ向けが大きく伸長

連結営業利益の増減要因分析 (22年上期実績 対 23年上期実績) YOR//ZU

単位：百万円



日本、米州での生産台数増加による増益はあったものの、中国での生産台数減少による減益、金型設備売上減、為替影響、将来の成長へ向けたコストなどにより若干の減益となった

地域別売上高・営業利益 連結調整前 (22年上期実績 対 23年上期実績) YOR//ZU



- ◆ 日本 部品、金型売上ともに増加により増収・増益、成長への対応コスト増を吸収し増益
- ◆ 米州 生産台数増加による増収・増益あるも、労務費の上昇、メキシコでの新車立ち上げ準備費用の増加による減益があり、前期並み
- ◆ アジア 合理化による増益があるものの、中国などでの生産台数減少により減益

財務状況 2023年9月期

YOROZU

(単位：百万円)	2023年3月末 A	2023年9月末 B	前期比(B-A)	
自己資本	63,630	70,116	6,486	10.2%
自己資本比率	45.0%	46.1%	--	--
有利子負債	DEレシオ 0.52 32,835	0.44 30,753	△2,082	△6.3%
NET有利子負債	NET DEレシオ 0.14 9,217	0.11 7,896	△1,321	△14.3%
総資産	141,511	152,098	10,587	7.5%

(単位：百万円)	2022年9月期 累計 A	2023年9月期 累計 B	前期比(B-A)	
営業キャッシュフロー	5,122	5,504	382	7.5%
投資キャッシュフロー	△814	△3,629	△2,815	--
財務キャッシュフロー	△5,233	△4,167	1,066	--

適切な資金調達計画でDEレシオは健全な状態を維持

(ご参考) 連結貸借対照表の概要 2023年9月期 YOROZU

単位：百万円	2023年3月末 A	2023年9月末 B	増減 B-A	
流動資産	72,582	76,351	3,769	現金
固定資産	68,928	75,746	6,818	受取手形及び売掛金
資産合計	141,511	152,098	10,587	棚卸資産
流動負債	44,393	48,699	4,306	その他の流動資産
固定負債	19,677	19,311	△366	有形固定資産
負債合計	64,071	68,010	3,939	投資その他の資産
株主資本	62,961	62,694	△267	支払手形及び買掛金
その他の包括利益累計額	668	7,421	6,753	電子記録債務
非支配株主持分他	13,809	13,970	161	短期借入金
純資産合計	77,439	84,087	6,648	1年内返済予定の長期借入金
負債・純資産合計	141,511	152,098	10,587	その他
				長期借入金
				その他
				当期純利益
				配当支払
				その他有価証券評価差額金
				為替換算調整勘定

I. 2023年度上期決算の概要

II. 2023年度上期業績

III. 2023年度業績予想

IV. 2023年度の取り組みの進捗

V. 株主還元

2023年度連結業績予想の概要

単位：百万円	2022年度 実績 A	売上高 比率	2023年度 予想 B	売上高 比率	増減額 B-A	増減率
売上高	160,560	100.0%	160,000	100.0%	△560	△0.3%
営業利益	3,088	1.9%	3,200	2.0%	+112	+3.6%
経常利益	2,992	1.9%	2,700	1.7%	△292	△9.8%
当期純利益 ※ 1	1,422	0.9%	1,500	0.9%	+78	+5.5%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

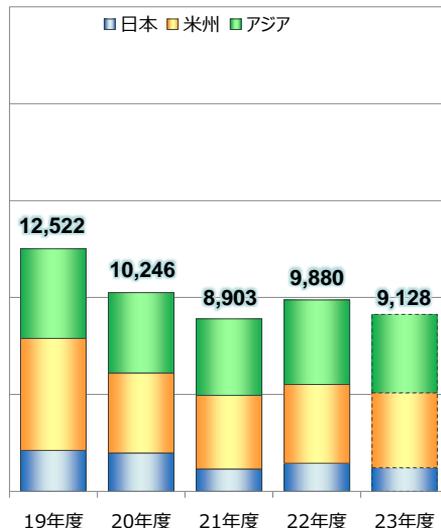
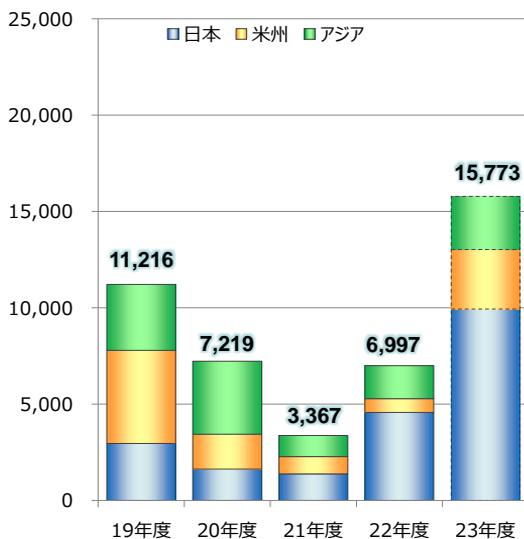
- ◆ 売上高 生産台数の増加、為替影響による増収要因あるも、中国の不透明感等により前期並みの見込み
- ◆ 営業利益 将来の成長に向けたコストを織り込むも、合理化により前期比で増益の見込み

設備投資と減価償却費

地域別設備投資

地域別減価償却費

単位：百万円



目次

- I. 2023年度第2四半期決算サマリー
- II. 2023年度上期業績
- III. 2023年度業績予想
- IV. 2023年度の取り組みの進捗**
- V. 株主還元

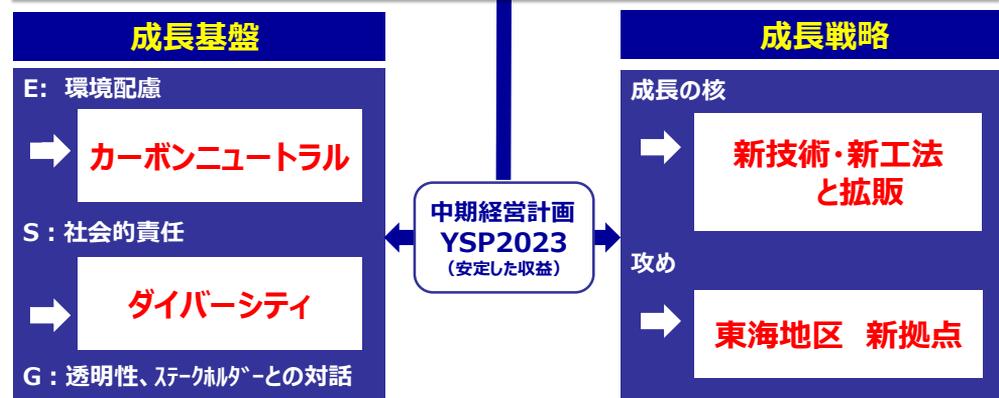
2023年度上期トピックス

方針		2023年度上期トピックス	
全体		<ul style="list-style-type: none"> ● JAPAN MOBILITY SHOW 出展 (10月~11月) ● 統合報告書の発行 (日本語版 8月、英語版 11月) 	
ESG経営	E 環境	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーン電力への切替 ● 中国 G-YBM 太陽光発電システムを導入し発電開始 (1月) ● 東海地区新拠点 新拠点名の発表 (10月) 	
	S 社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 働き“方”から働き“がい”改革へ向けた施策の実施 ● 厚生労働大臣が認定する「くるみん」認定取得 (6月) ● 地域との共生の推進 	
	G ガバナンス	● 株主総会のWEB配信を実施 (6月)	
	DX推進	● 現場におけるDXの推進	
安定した収益		<ul style="list-style-type: none"> ● 安定した収益を支える徹底した取り組み ● 生産変動へ柔軟に対応する独自技術の適用拡大 	
新技術・新工法		<ul style="list-style-type: none"> ● CO2排出量削減に寄与する軽量化製品の拡大 ● 顧客軸・製品軸・地域軸による拡販への取り組み 	

2023年度 重点取り組み

次期中期経営計画 (FY24~FY26)

電動化時代に確固たる存在感を示す
ヨロズの成長戦略の構築と具体的な道筋をつける



新技術・新工法と拡販

新技術・新工法開発

取り組みの方向性

- CO2排出量削減に寄与する鉄製品の提案力強化
 - ・新プレス構造アーム
 - ・材料置換アーム
 - ・新設計バーリング構造
 - ・マルチマテリアル構造
- 超ハイテン材（980MPa）の製品化による軽量化
- EVに要求される静粛性向上への対応



■ 980MPa材 による軽量化の促進

■ NEXT STEP

軽量化技術 **超ハイテン鋼板アーム**
 重量▲15%
 ※CO2削減▲40.7K ton

超ハイテン材の次世代製品開発

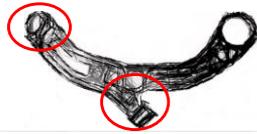
重要ポイント **軽量化**

重要ポイント **軽量化 プレス加工技術**

超ハイテンの厚板材を利用した製品化に成功

成形が難しい形状へ適用出来るプレス加工技術の開発に着手

23年度市場投入決定



超ハイテン材の次世代製品開発にも着手し、更なる拡販活動を継続中

EVに要求される静粛性向上への対応

内燃機関車



EV (車両重量増加)

求められる部品機能

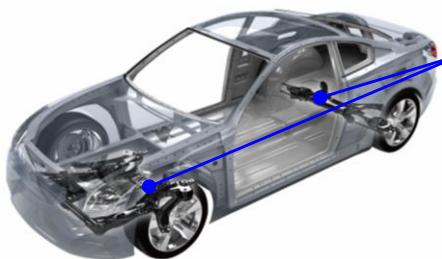
- エンジン
- ガソリタンク
- マフラー



- モーター
- バッテリー
- コントローラー



- 軽量化
- 静粛性 向上
- EV車 音・振動の 変化への対応



2023年度～ 取組み
音・振動の発生メカニズムを確認

検証・構造検討



電動車向け製品の拡販を強化



トヨタ グランドハイランダー
(HEV)



レクサス TX
(HEV)



VENUCIA VX6
(BEV)



東海地区新拠点
ヨロスサステナブルマニュファクチャリングセンター
(略称：YSMC)

稼働に向けて順調に進捗

2022/6/21

誘致協定
締結式

10/24

土地売買
契約締結
・造成完了

11/24

地鎮祭

2023/10/26-

JAPAN
MOBILITY
SHOW

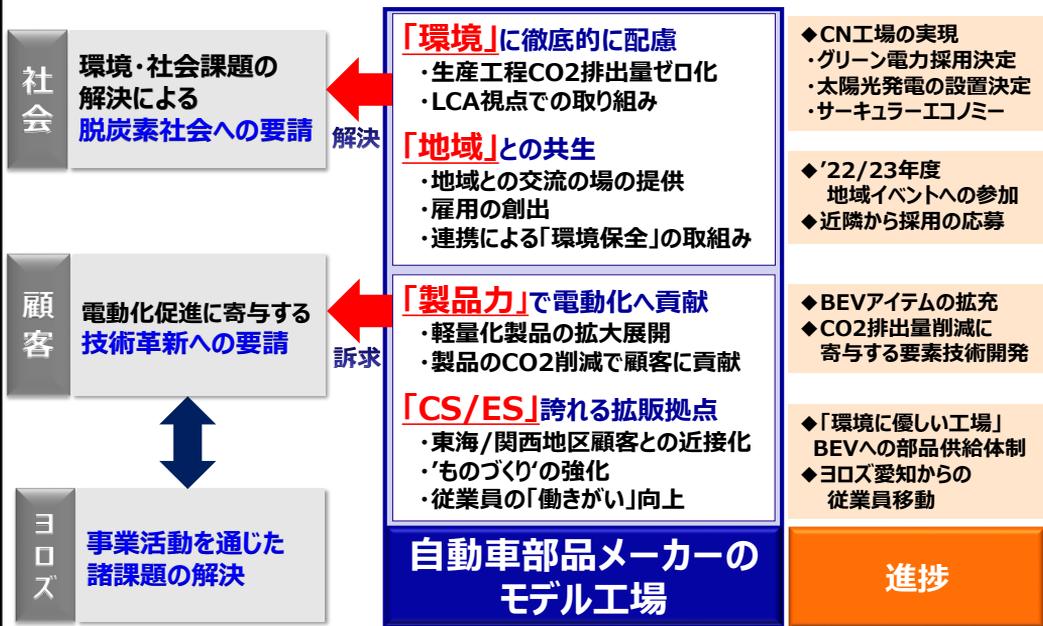
2024/1

操業開始
予定

ヨロズ サステナブル マニュファクチャリング センター (YSMC)



YSMC モデル工場への取組み



国内生産の電動車向け製品



日本国内で販売されたEV車の
80%に
ヨロズ製品が採用

And more...



ヨロズ大分(YO)

「環境に優しい工場」からの供給で
各社BEVの生産量拡大に貢献

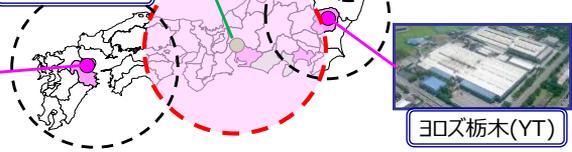
ヨロズ サステナブル マニュファクチャリング センター (YSMC)



庄内ヨロズ(SY)



ヨロズ愛知(YI)



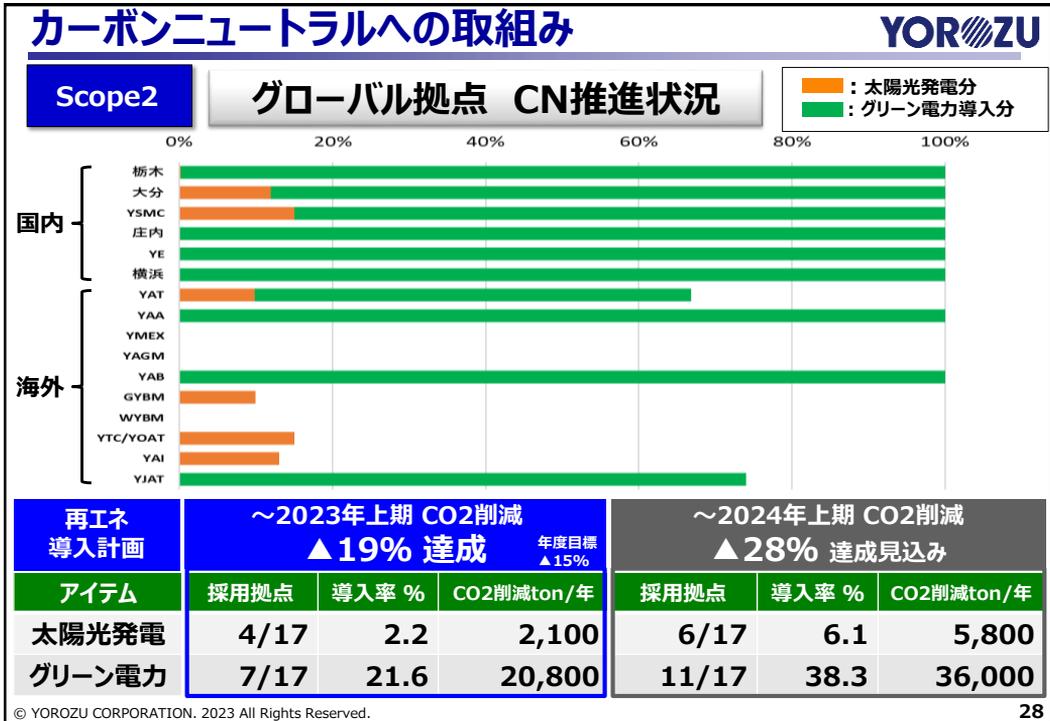
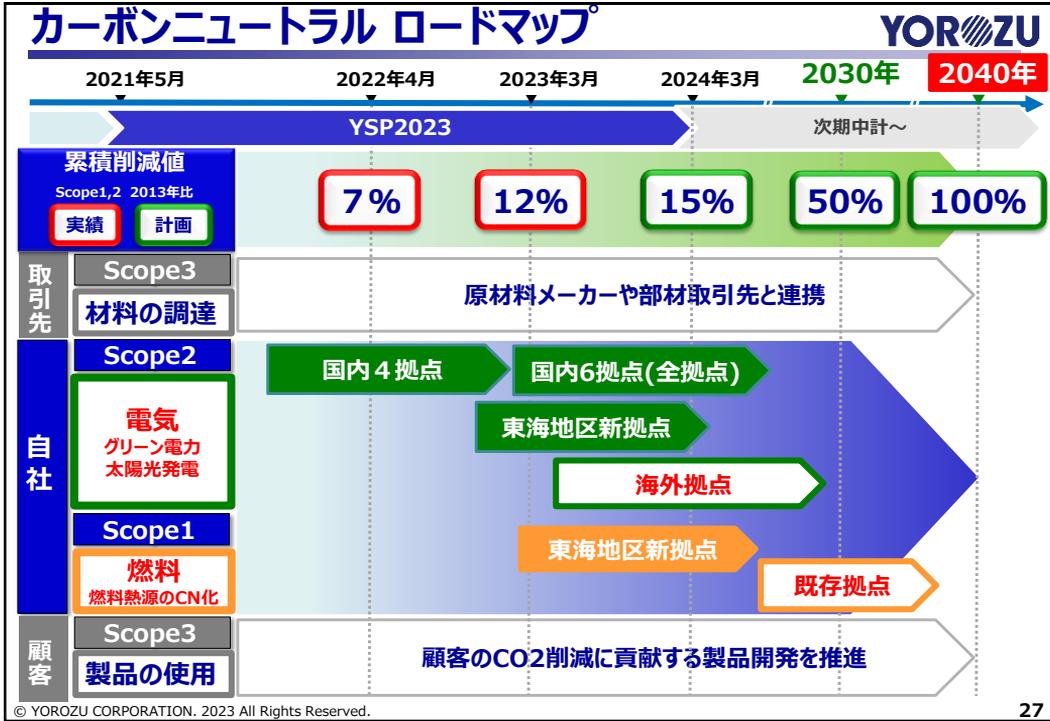
ヨロズ栃木(YT)

中期経営計画 YoroZu Sustainability Plan 2023

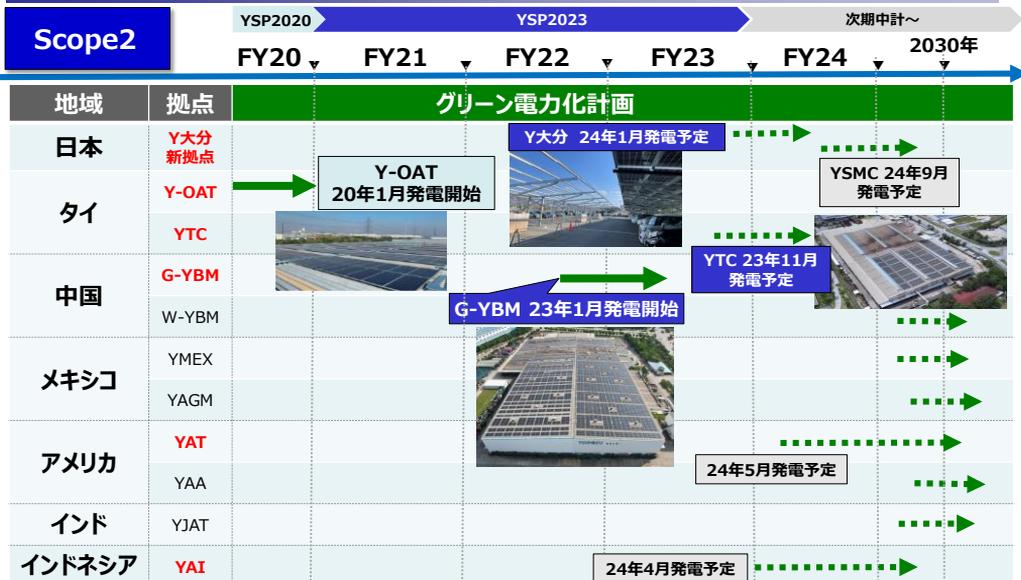


Vision 2040
YOROZU

カーボンニュートラル推進



太陽光発電 導入の取組み



各国のCN取組みに合致した活動を展開していく

アーク溶接時のCO2排出量 独自調査

調査結果

グローバル CO2排出量 約90,000 ton/年 に対し
0.001%以下

アーク溶接時のCO2排出量は超微量

カーボンニュートラルに向けた取組みの中で、他社に先駆けて調査した専門メーカーとして、アークの燃焼まで踏み込んで活動を実施中である

アーク溶接



アーク溶接時のCO2排出量 約0.9 ton/年 以下



全体トピックス

JAPAN MOBILITY SHOW 出展

テーマ

カーボンニュートラル へのチャレンジ

電動化時代 に貢献する 革新的技術



10月28日～11月5日 ブース来場者数 約4,000名

YOROZU 統合報告書2023

日本語版 : <https://www.yorozu-corp.co.jp/investors/material/integrated/>

英語版 : <https://www.yorozu-corp.co.jp/en/investors/material/integrated/>

YOROZU
統合報告書
2023



脱炭素社会の実現に向け
社会貢献と成長戦略の両輪で
永続的に発展を続ける100年企業へ

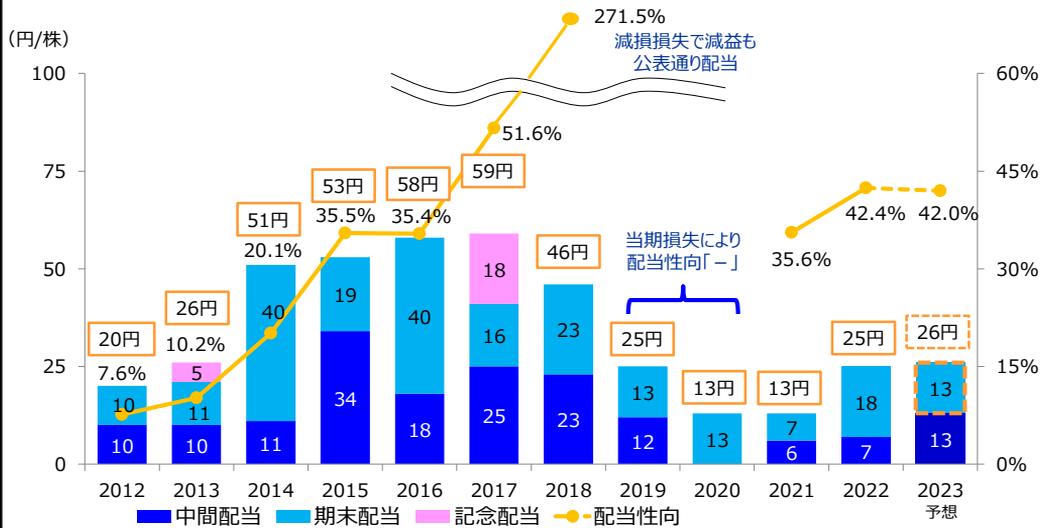
YOROZU

当社の取組みをご確認いただくと幸いです

- I. 2022年度第2四半期決算サマリー
- II. 2023年度上期業績
- III. 2023年度業績予想
- IV. 2023年度の取り組みの進捗

V. 株主還元

株主還元について



**基本方針は配当による株主還元
目標配当性向を35%以上としつつ持続的な配当を目指します**

— 以上 —

2023年度 YOROZU 上期決算説明会
ご清聴ありがとうございました

ヨロズ ホームページURL
<http://www.yorozu-corp.co.jp>

免責事項と著作権

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみで全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さいますようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

責任者：(株)ヨロズ 取締役専務執行役員
担当：(株)ヨロズ 経理部 経理グループ長

平野 紀夫
小澤 学

TEL 045-543-6802